

町民の皆さまとの対話会 会議記録

開催日	令和6年12月1日	開催時間	16時～17時30分
会 場	加用集落センター	参加人数	14人

No.	質問・意見趣旨	回答趣旨
1	農地の基盤整備が今後停滞することはないか。	津南町では10年～15年かけて行う長期の事業となります。遺跡の発掘調査もしながらであり、人手がかかることが予想されます。一番重要なのは県の予算であり、今年は6地区の申請を目指しています。
2	日頃より特段のご配慮ありがとうございます。改めて感謝申し上げます。他にも要望はあるが、その都度担当者に相談して上にあげます。	ありがとうございます。
3	旧中津小が埋蔵文化センター「うもれあ」になるが、建物の維持費がかなり見込まれるのではないかと入館料をとるのか。また、目につきにくい箇所があるが、呼び込みの工夫はどうするのか。	毎年維持費がかかることになっていきますが、しっかり精査していきます。入館料についても検討中です。道路の入口には大きめの看板を設置しようと考えています。今年の大地の芸術祭のノウハウを活かしていきたいと思います。
4	農地の規模は小さいが、水路との兼ね合いもあり基盤整備だけはしてほしい。また、自民党が大敗したことで予算が変わるかもという不安がある。	予算の状況がどうなるか注視していきます。予算確保について、国、県にしっかり要望していきます。
5	基盤整備をするにしても、条件の悪いところはどうか、やはり限界があるのでは。	離農者の平均年齢が75.6歳、津南の農業者平均年齢が65歳とすると、10年のスパンを鑑みて計画をしていくことになります。場所によっては、大規模化できないところや、法人も一杯であったり、収益的にも厳しいところもあります。町としてどのようなことができるか検討していきます。
6	バスや公共機関は、今後どうなるのか。柴村ではうまくやっていると聞く。	非常に重要な問題です。路線バスは縮小されていく傾向です。市町村の有償運送で補っていますが、多くの予算がかかっています。「ライドシェア」という仕組みもありますが、人手がないと実現は難しいのが現実です。今年はタクシー券の助成を始めています。
7	人口減少、2025年くらいに半分になるというが、町が活気づいてほしい。大地の芸術祭が3年に1度だが、毎年の開催は可能か。	今年のような3年に1度の大祭の形は残しつつ、間の年についても、通年的に人を呼び込めるような方法を模索中です。上郷クロープ座や秋山は通年でやりたいと考えています。
8	地域おこし協力隊が、かつて上郷にもいたがまた来る見込みはあるか。	地域の要望で上がってきたものを、町で公募をかけています。また、特定の仕事に特化した協力隊への取り組みも進めています。上郷においても地域に受け入れる取り組みとして検討いただければと思います。
9	県の園場整備に期待。	県の予算をどれだけ引っ張ってこれるかが課題だと考えています。10年以上かかる事業になると思います。
10	グリーンピアは、津南町内の知名度が高い。職業の場としても残して欲しい。いい職場が無いと、若者が津南町から出て行ってしまう。グリーンピアに期待。	現状、修繕費だけでもかなりの金額がかかります。集客力を高めるにはリニューアルも検討する必要があります。現在、どう好転させるか検討中です。津南町の長期的な発展に寄与するよう検討を進めます。

11	若者がこれから農業で利益を出せるような施策をお願いする。子ども達も外に出て行ってしまって悲しい。	どのような施策ができるか検討を進めてまいります。
12	学校、建物の空き家の活用法。この前のテレビで学校を野菜工場にしているのを見た。	現在は、統合についての検討をしているところです。その後の活用まで進んでいませんが、民間へ委託等を含めて、地域に還元できるように考えています。
13	近くの中野、飯山では一般企業が学校を購入し、冷蔵庫をつけて、地域の農産物を保存し、3月にだすような取り組みをしている。	勉強させていただきます。
14	町にお願いしても、お金のかかることは金がない。前例がないと言われる。町長の「～したい」という強いビジョンが欲しい。	やりたいことは先ほど話させていただきましたが、ビジョンと合意形成の両立は難しいと考えています。今やっと、3、4回目まで来ました。ダウンサイジングをしっかりと行い、本当にやるべきところに繋げていくことが重要だと考えます。さまざまな年代のかたが混ざってやっていくいい流れを作ることを目指します。
15	農業、大規模・小規模・兼業とあり、難しいがすべての支援が欲しい。	勉強し、検討させていただきます。